

国立大学大学院
 特定教授
宇都 義浩教授
 ×
 保健師・参議院議員
石井 苗子氏

自閉症児のコミュニケーション改善に。 免疫からアプローチする GcMAFサプリメントの可能性

自閉症スペクトラムの特性を持つ子どもたちへの新たなサポートの可能性として注目されているのが「GcMAF（ジーシーマフ）」という成分を含むサプリメントです。このサプリメントの開発に取り組んだのは、複数の国立大学で教授を務める宇都義浩教授。そして、このテーマに深い関心を寄せるのが、保健学博士として医療・福祉に関わってきた参議院議員の石井苗子氏。今回はお二人に、自閉症と免疫、そしてGcMAFサプリメントの可能性についてお話を伺いました。



うと よしひろ
 宇都 義浩

国立大学にて教授を歴任。免疫の正常化で健康長寿を実現することをテーマに、免疫学と創薬の専門家として、20年以上GcMAFの治療研究を進めている。

いしい みつこ
 石井 苗子

参議院議員。保健学博士・看護師・保健師の資格を持ち、医療・福祉・防災など幅広い分野で活動。当事者に寄り添う政策提言に力を注いでいる。

コミュニケーション改善が
 期待されるサプリメント

いま、発達障がいとされる子どもたちの数は年々増加傾向にあります。中でも、自閉症スペクトラムの特性を持つ子どもたちの中には、言葉の遅れや感情のコントロールの難しさなど、日常生活においてさまざまな課題を抱えている方も多くいます。そうした中、コミュニケーションの改善に期待が高まるのがGcMAFサプリメントです。

GcMAFとは、もともとマクロファージ（免疫細胞）を活性化させるたんばく質です。宇都教授は1998年からこの成分の研究を続け、当初はがんや自己免疫疾患の治療に応用してきました。その後、人の血液から抽出する方法には法的制約があることから、牛の初乳からGcMAFを製造する方法を確立し、サプリメントとして開発しました。なんと初乳は免疫が低い場合は免疫力を上げ、逆に高すぎる場合は落とすという二面性を持ち、免疫をコントロールして正常値に調整するという働きをしてくれるのです。

この初乳を含むサプリメントを製造・販売するあさ製薬は、「困っている人に、必要なものを確かな形で届けたい」という社会貢献の想いから、売上の一部を財団に寄付する構想も持っています。単なる商品

ではなく、医療や福祉の現場で選ばれる存在を目指しています。

初乳に秘められた免疫力と、
 腸と脳の深い関係

初乳とは、出産直後に母親から分泌される特別な母乳のことです。栄養価だけでなく、免疫物質も多く含まれているため、新生児の免疫力の形成に重要だとされています。

「最近の子どもたちはさまざまな理由から母乳を飲む機会が減っていることもあり、免疫力のベースが不安定なまま成長してしまうケースもある」と産院の現場にも詳しい石井氏は語ります。

宇都教授は、初乳から抽出したGcMAFの成分が、腸内環境を整えることによって脳内の免疫細胞にも良い影響を与える「腸脳相関」に注目しています。「腸内のフローラが乱れていると、脳の神経ネットワークの形成にも影響を



及ぼす可能性があります。特に自閉症の特性に関わる行動パターンにも変化が見られることがあります」と言います。

すでに臨床の現場では実際にインドネシアやシンガポールでは、GcMAFサプリメントの摂取によって、自閉症の子どもたちに言葉数の増加や攻撃性の緩和などの変化が見られたとの報告もあります。

サプリメントの摂取量はチェックを重ね、
 段階的に

では、どのくらいの期間・量で変化が期待できるのでしょうか？

宇都教授によると、「摂取量は、1日3ミリから10ミリで十分な効果があります。自閉症の方ですと、早ければ2カ月、平均して半年以内に行動の変化が見られるケースが多いです。また、大人の方はもちろんですが、お子さんですとより効果が早く出ます」とのこと。始めは少量から、効果に応じて量を増やすことを推奨しています。

また、今回の初乳サプリメントに関しては、モニターを募集しています。対象は、主に発達特性を持つお子さんとそのご家族。定期的に付随のチェックリストで状態を確認し、効果の有無を検証する形式です。これは、今後より多くの人に適した処方方を研究するための重要な試みでもあります。

石井氏は、「サプリメントや栄養療法がもつ



あさ製薬

画像は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります

と身近な支援策になるためには、専門家と研究者、そして当事者がつながる場が必要ですね。ただ、やはりサプリメントという形は、偏食の方や忙しい方には摂取しやすい、ハードルが低いという点が嬉しいですよ」と語ります。

健康を支える選択肢としての
 サプリメント

サプリメントというと、「効くのか分からない」「何を選べばいいのか迷う」といった声がつきものです。しかし、宇都教授は「病気になる前からではなく、未病の段階でケアするための手段として、サプリメントを正しく活用してほしい」と話します。一方、石井氏は「子どものなんとなく気になるを放っておかず、できることから始めてほしい。親御さんがつらいと感じること整理して、それを軽くできる選択肢を探すことが大切だと思っています。障がいのある親御さんと話をすることで聞くお悩みは深いということから始

GcMAFサプリメント モニター参加者を募集中!

お申し込みフォーム▶<https://online.asapharma.jp/pages/form>

※定員を超過した場合、抽選とさせていただきます。また、その他の事情により中止させていただきますので、あらかじめご了承ください。

サプリメント成分

初乳、ビタミンA・B・C・D・E、鉄、亜鉛、マグネシウム、DHA、エルゴチオネイン。子ども用は栄養素等表示基準値の60%で設定しています。

お問い合わせ先▶support@asapharma.jp

製造・販売元 株式会社あさ製薬

「What you need, when you need it必要な人に必要なものを」を理念に、健康を願う生活者に納得していただける優れた健康関連商品及びサービスの提供を通じて、新しい価値を創造し世界の人々の健康に貢献します。



障がいのある子の未来とお金の話

「その日」が来る前に考えたい。

「親がいなくなった後、この子はどうなるんだろう」。
障がいのある子を育てるご家族なら、一度は頭をよぎったことがある問いかもしれません。障がい児家庭に寄り添いながら、将来に向けた資産形成のアドバイスをを行っているのが「障害のある子のライフプランサポート協会」です。今回は、代表理事の佐藤加根子さん、理事の中沢信義さんに「親なきあと」に備えるために今できることについて、お話を伺いました。



一般社団法人 障害のある子のライフプランサポート協会

障がいのある子の親であるファイナンシャル・プランナーが中心となり、法律の専門家とも連携。お金と法律の両側面からご家族をサポートし、「『これしかない』という選択肢から、多様な未来を描ける社会」を目指し、親子ともに心豊かに、納得して選べる未来と一緒に考えている。

(右)代表理事 佐藤加根子さん

ファイナンシャル・プランナー。自閉症の息子と自分の将来が不安になったのがキッカケになり、同じような悩みを持つ親や家族へのセミナーやご相談を始める。

(左)理事 中沢信義さん

司法書士・行政書士。制度のプロの目線から障がい児家庭をサポート。成年後見や家族信託、相続実務などを行い、実際に成年後見人としての事例も持つ。



代表理事の佐藤さんと自閉症の息子さん

期、そして親なきあとのライフステージを一枚のシートで見える化することによって、「いつ・どのような準備をすればいいのか」がわかりやすくなります。

「一緒に表を作ると、最初は不安そうだったご家族も、『ライフプランにしてみたら、何を準備すべきかがはっきりした』『できることがあるとわかって、前向きな気持ちになれた』とおっしゃいます。不安の正体がわかると、そこに向けて備える力も湧いてくるんです」と佐藤さんは続けます。

お金のことを話すのは、愛情の延長線にある

佐藤さんは、ライフプランを作ることには「将来への愛情表現」だと語ります。

「例えば、相続の話や信託、保険の活用など、耳慣れない制度も多くて最初は戸惑うと思います。でも、それらを学ぶことは誰よりも大切なわが子が、安心して暮らしていくための準備なんです。我が子のために残したいお金も、子が成人する

【相談事例】

詳細はこちら



ご相談者 母親(シングルマザー)

- ▶長男:知的障がい。自分でお金の管理は難しい。
- ▶長女:発達障がい。ある程度は自分でお金を管理できるが、使い過ぎたり、騙されたりしないか心配。
- ▶住まい:賃貸住宅に親子3人で生活中



母の希望 いずれ子どもたちには、独立してグループホームなどで暮らしてもらいたい。→「いつ頃・どんな所で」など、具体的なことは、まだわからない。

相談内容 母親がみられなくなった後の、子どもたちの将来が漠然と不安。また自分自身の老後も心配。今のうちに出来る準備を知りたい。



ご家族向け講演会



オンラインセミナー収録

お金の不安と向き合った先にあった「当事者家族の声」

「相談に来られるご家族の多くは、『わが子の将来の生活費をどう準備すればいいかわからない』という切実な悩みを抱えています」。

そう語るのは、代表理事の佐藤さん。自身も自閉症の息子の母であり、ファイナンシャル・プランナーとして活動してきた経験を持ちます。協会設立のきっかけは、障がいのある子どもを持つ保護者仲間との何気ない会話でした。

「目の前の支援や制度はあっても、将来のお金について具体的に考える機会って、実はほとんどないんです。でもその



と『親権』がなくなるので親が管理することが難しくなります。成人した時に、子のために親が自由にお金を使えるように準備しておくことも大切です」。

協会では、障がい児・者家庭向けに定期的なセミナーを開催しており、これまでにのべ2000人以上が参加。500件以上のご家庭が相談されています。全国各地から、同じ悩みを持つご家族が学び、つながりを得ています。

「同じ立場の人の話を聞けるだけで、『うちだけじゃないんだ』と感じられて、救われる方も多いです。専門家に相談できる環境が身近にあることで、心のゆとりにもつながります」と佐藤さん。

「つながり続ける」ことが大事

最後に、佐藤さんから障がい児を育てるご家族へのメッセージをいただきました。

「まだ子どもが小さいうちは、将来の話をするのは不安が大きいのと思います。でも、どんな段階でも『今できる準備』があります。制度を活用するために、18歳の成人までにやっておきたいこと、それまでじゃないとできないこともあります。私たちがとにかく伝えたいのは、支援者や制度、仲間と繋がってほしいということです。特に成年後見や相続など制度に精通する専門家と繋がっておくことで『いざ』というときのためにあります。今

ままだと、いざという時に困るのはご本人とご家族。だからこそ、早めに考えられる場所をつくりたかったんです。そこでこの協会を立ち上げました。『ライフプラン』というと難しく聞こえますが、私たちはこれを『親子の未来準備マップ』と呼んでいます」。

2020年に立ち上げたこの協会では、FP(ファイナンシャル・プランナー)や法律の専門家とともに、お金と法律の両側面からご家族ごとの生活環境や希望に寄り添った「ライフプラン設計」のお手伝いをしています。

うちの子はどれくらいお金がかかりそう？見える化してみると

障がい児家庭にとって、お金の悩みは多岐にわたります。福祉サービスの自己負担、医療費、進路の選択肢、そして「親なきあと」の生活保障まで。

「よく聞かれるのは、『結局、うちは』『どのような準備が必要なんだろう?』という。でもそれは、子どもの特性や進路、家族の希望によって本当に違います。だからこそ、漠然とはなく具体的なプランを立ててみるのが大切なんです」と語るのは、司法書士であり、同協会理事の中沢さん。

同協会では、まず最初に、独自に開発した「わが家の未来準備マップ」を使って、ご説明しています。児童期から成年

できる準備にぜひ目を向けてみてほしいです」。

現在は、より個別の支援に力を入れたオンライン面談や、自治体や福祉事業所との連携講座も予定しているそう。資料請求や無料メール講座の申込みは、協会の公式サイトから気軽に行えます。

大切なわが子の未来を守るために、今できることから始めてみませんか。

【お問い合わせ先】
一般社団法人 障害のある子の
ライフプランサポート協会
https://www.s-lps.com
Tel. 045-296-6074
Mail. info@s-lps.com



公式LINEからの
お問い合わせが便利です!



計4名様 PRESENT

E 親子のFPシミュレーション作成コース
F わが子のために何を準備したらいいかが分かる「わが家の未来準備マップ作成コース」



E 親子のFPシミュレーション作成コース 1名様
※障害のある子のライフプランサポート協会のサポートメニュー。税込44,000円相当。
F わが子のために何を準備したらいいかが分かる「わが家の未来準備マップ作成コース」 3名様
※障害のある子のライフプランサポート協会オリジナル

詳しくはP.31

知的障がいのある子どもたちに、 チアの花を 咲かせたい

～FLOWERSの挑戦と成長の記録～

誰かを応援する力が、自分を変える力にもなる。
千葉県市川市を拠点に活動する
知的障がいのある子どもたちのチアチーム
「FLOWERS」は、そんな思いを胸に、日々の活動を
続けています。キラキラと笑顔を輝かせる
メンバーや代表の入井智子さんに話を伺いました。



出演した、東京マラソン2025のランナー応援イベントにて



個性の美しさと力強さを象徴する
FLOWERS

母体であるICSC FAIRIES Athleticsの一般クラスから、2024年に発足したこのチームは、現在4名のメンバーで構成されており、未就学児と、小学生から高校生までの知的障がいのある子どもたちが中心となっており練習に励んでいます。

「FLOWERS」というチーム名には、メンバー一人ひとりが持つ個性の美しさと力強さを象徴する意味が込められています。花が太陽の光を浴びて育つように、子どもたちも努力と仲間の支えの中で輝きを放つてほしい、そんな願いのもと、これまでに東京マラソン応援イベントや競技チア大会のショートタイム枠にも出演してきました。ユニバーサルチームとして、障がいの有無を超えたパフォーマンスを目指しています。

チアを通じて得た自信と笑顔
「東京マラソンでの姿」

2025年3月、東京マラソンランナー応援イベント「TOKYO CHEER 2025」に参加したFLOWERS。大きなステージでの初パフォーマンスに、メンバーたちは緊張しながらも堂々と演技を披露しました。高橋くるみさん（高校1年生）は「体を動かすのが好きで

始めたけど、ダンスも上達してきた」と笑顔で話してくれました。吉山えりなさん（高校2年生）と妹の吉山みさきさん（小学5年生）も「人を支えるスタンプが見どころです」と胸を張ります。

彼女たちは「大会に出てみたい」「世界大会にも挑戦したい」と意欲を語り、トータッチや足上げなどの技の習得にも前向きに取り組んでいます。保護者たちもその変化を実感しています。「友達ができて明るくなった」「人前に出るのが苦手だった娘が、生徒会に立候補した」と話し、FLOWERSの活動が子どもたちの生活に自信と新しい世界をもたらしていることが伝わってきました。

イベントではサポートスタッフも協力しチームを支えます。純粋に「楽しい」と全力でチアに向き合う姿は、競技チア経験者にも初心を思い出させ、心に響くものがあるそうで、「彼女たちのそんな姿に惹かれ、関わりたいと感じるのが一番の魅力」だといいます。



ICSC FAIRIES Athletics「FLOWERS」代表の入井さん。チアに興味があったらまずはぜひやってみてほしいと話します。

入井代表の想いと、共に育つ
チーム文化

代表の入井さんは、オリパラ関連の仕事を経て知的障がい者チアに関心を持ち、日本知的障害者チアリーディング協会スタッフとしての経験を積んだのち、自身のクラブ内にFLOWERSを創設しました。日々のレッスンでは、あえて過剰な配慮をせず、自分で「できる・できない」を判断する力を養うことを大切にしています。

練習は月に3回程度。健常児のクラスと同じ空間で活動しており、互いの存在が自然な関わりとして根づいています。知的障がいのある年上メンバーが幼い子の面倒を見る光景もあり、支え合いながら成長するチーム文化が育まれています。

入井さんは、「できないからやらないではなく、まずやってみる精神が身についた」とメンバーの成長を話してくれました。時にはうまくできず落ち込むこともありましたが、練習を重ねて乗り越えられる姿こそが、チアスピリットそのものだと感じているそうです。



天気に恵まれた初舞台で笑顔が輝くFLOWERSメンバーの皆さん

広がる仲間の輪、
そして未来へのエール

FLOWERSの活動は今、地域を越えて広がりを見せています。筑波のチームとの合同演技や、ハンドボールリーグのハーフタイムショーへの出演も実現しました。5月には協会加盟チームとの交流会、9月には大会形式の成果発表会を予定しており、健常児チームも招いてのユニバーサルなイベントを計画しています。

活動を通して「当たり前と一緒にいる環境を作ること。入井さんが目指しているのは、FLOWERSだけでなく、全国に仲間が広がっていく未来です。

FLOWERS

2024年6月に発足した知的障がい児クラスのチアチーム。千葉県市川市を拠点に活動中。姉妹団体にICSC FAIRIES Athleticsがある。
<https://www.instagram.com/icscfairies/>

ICSC FAIRIES Athletics (活動拠点:千葉県市川市)

お通いいただける範囲の方であれば市外の方も大歓迎。
<https://www.fairies-athletics.com/>

講師やボランティアスタッフ、 障がい者チアへのお問い合わせも募集中!

講師やボランティアスタッフはチア経験不問。うちの子にもこういう活動をさせたい! 私たちのコミュニティでもやりたい! などお気軽にお問い合わせください。

■一般社団法人日本知的障害者チアリーディング協会
<https://www.jidca.org/>





父が作ってくれた家の庭のスペースで練習するなど、サッカー漬けな毎日を送っていました」

田中選手「中学の部活動でもサッカーをしていました。部活動では、中学からサッカーを始める人もいますし、グラウンドも他の部と共同で使うなど場所も限られていましたが、その中で何ができるかを自分で考えながら常に取り組んでいたのが学びも多かったです」

——湘南ベルマーレのユースに進んだ経緯は？

寺下選手「いい環境でプレーができればと、中学1年からユースに入りました。遠方から引越したこともあり環境の変化に最初は不安もありましたが、サッカーに対する熱量の高い仲間から刺激を受けて、より努力するようになりました」

田中選手「中学のときに、トレセン（地区代表）に選ばれたことをきっかけに、ベルマーレから声をかけてもらい、高校1年から入りました。メルディアの支援選考会では緊張しましたが、事前に想定

田中選手「僕は3年間、思うようにいかないことが多かったですが、それでも1日1日を大切にすること、腐らずに続けることを学びました。ユースの選手は熱量が高く、足元の技術やスピードの部分で圧倒される

——ユース時代に特に成長したと感じたことは？

寺下選手「僕は最初の1年は下位チームにいて、なかなか試合に出られませんでした。毎日の積み重ねで成長できるところを実感しました。上のチームに上がるには地道な努力が必要だと学びました」

田中選手「僕は3年間、思うようにいかないことが多かったですが、それでも1日1日を大切にすること、腐らずに続けることを学びました。ユースの選手は熱量が高く、足元の技術やスピードの部分で圧倒される



——ユース時代に特に成長したと感じたことは？

寺下選手「僕は最初の1年は下位チームにいて、なかなか試合に出られませんでした。毎日の積み重ねで成長できるところを実感しました。上のチームに上がるには地道な努力が必要だと学びました」

田中選手「僕は3年間、思うようにいかないことが多かったですが、それでも1日1日を大切にすること、腐らずに続けることを学びました。ユースの選手は熱量が高く、足元の技術やスピードの部分で圧倒される

ベルマーレ フットボールアカデミー

技術向上だけでなく、人間力の育成にも注力し、「そこに落ちているゴミを拾える人間に」というミッションのもと、社会に貢献できる選手の育成を目指しています。
<https://www.bellmare.co.jp/academy>

メルディアの 青少年スポーツ支援事業

奨学制度 個々が置かれている事情からプロ選手を目指すことを諦めざるを得ない青少年らの「夢」の実現を応援し、支援する「奨学制度」を設けています。
<https://mlda.jp/sports/>



ました（笑）。でも、続けることで自分の強みや課題が整理できるようになり、今ではやってよかったと思っています」



メルディア青少年スポーツ支援の奨学生にインタビュー 寺下 翔和選手×田中 大雅選手 ——ベルマーレフットボールアカデミー——



田中 大雅選手
高校3年間を奨学生として支援。神奈川県出身。

寺下 翔和選手
中学高校6年間を奨学生として支援。石川県出身。

未来のトップアスリートの可能性を広げる支援を

一般財団法人メルディアは、未来のトップアスリートを育成するために、青少年スポーツ支援を行っています。その一環として、18歳未満の青少年に向け奨学制度を設け、経済的な負担を軽減しながら、サッカーに打ち込める環境を提

供しています。寺下選手、田中選手が所属していたベルマーレフットボールアカデミー（以下、ユース）は、サッカースクールからユースまでの一貫した指導体制を持ち、プロを目指す選手たちを育成する名門クラブです。理念に向上心や人間力の形成を掲げ、「湘南から世界へ！」を目指し日々躍動しています。

サッカーを本格的にやりたいという想いから

——サッカーを始めたきっかけを教えてください。

寺下選手「最初は空手をやっていましたが、小学校4年生のときにサッカーが楽しくなって、本格的に始めました。そしてやるからには一番を目指す、と常々親から言われていたので、サッカーでプロを目指そうと決めました」

田中選手「僕は小学校4年生でチームに入りました。最初は友達と遊びでボールを蹴っていましたが、地元出身のプロ選手の試合を見て、一つのプレーで観客を沸かせることや、点を決めたときに全員で喜ぶ姿に、自分もこんなふうに活躍したいと思うようになりました」

——ユースに入る前はどのようにサッカーに取り組んでいましたか？

寺下選手「朝5時からドリブルスクールのコーチと自主練し、学校から帰宅後はチームの練習前に自分で練習し、夜は

豊洲 千客万来

豊洲市場に隣接する、活気あふれる 新たな賑わいスポット

さらに足を伸ばして「豊洲 千客万来」へ。ここでは、江戸の情緒を感じる街並みの中で、旬の食材を活かした食べ歩きグルメが楽しめます。焼き魚の串や新鮮な刺身、海鮮丼など、どれも市場直送の味。夜には、煌びやかな夜景を眺めながら足湯に浸かれるスポットもあり、ゆったりとした時間を過ごせます。豊洲市場と千客万来を巡るおさんぽ旅で、プロの技と食の魅力をたっぷり満喫してみたいかたがでしようか。



江戸情緒を感じながら海の幸を食べ歩き

計2名様 PRESENT

- PEANUTS SNOOPY×鳥獣戯画 巾着 1名様
- PEANUTS SNOOPY×鳥獣戯画 便箋 1名様

詳しくはP.31



豊洲 千客万来

市場の活気と江戸の情緒が融合した食と観光の新名所。新鮮な海鮮グルメや食べ歩きを楽しめるほか、夜景を眺めながら足湯も満喫。豊洲市場の魅力を存分に味わえるスポット。

<https://www.toyosu-senkyakubanrai.jp/>



おさんぽ

～プロの仕事と味を
豊洲 千客万来を巡る

仕入れのプロの仕事の間近に感じられる日本最大規模の卸売市場、豊洲市場。新鮮な魚介が揃い、職人の技が光る絶品グルメを堪能できます。さらに場外エリアの「豊洲 千客万来」で市場の魅力を存分に味わう一日を楽しんでみませんか？



ぷりっと濃厚な味わいが口に残る！

仲卸築地三代が直営する豊洲市場唯一の牡蠣専門店。新鮮な生ガキや香ばしく焼き上げた焼き牡蠣など、牡蠣好きにはたまらない至福の一皿がたくさん！

牡蠣や粋

所在エリア：豊洲 千客万来2階
<https://www.toyosu-senkyakubanrai.jp/241242/>



まずは贅沢な生ガキの食べ比べ！生、焼きなど色々な食べ方があるのでお気に入りを探してみてください。



豊洲市場

「食」のプロの仕事場、
東京の台所で新鮮な味を堪能！

日本の食文化を支える巨大市場、豊洲市場。2018年に築地から移転し、敷地面積約40.7ヘクタールの広さを誇る世界有数の市場です。水産卸売場棟では、全国から届く新鮮な魚介類が取引され、プロの職人たちの活気あふれる仕事を間近に感じられます。早朝のマグロセリの様子も見学でき（※要事前申込）、ダイナミックな市場の雰囲気を体感できます。水産仲卸売場棟には海鮮丼やすしなど飲食店も多数揃っています。腹ごしらえにもぴったりです。



市場の活気を間近で見られる食の舞台へ

DE 楽しむ！

堪能！豊洲市場と
おさんぽ旅～



市場ならではの極上の味に感動！

おまかせ握りやうに井などの豪華なメニューが並ぶ店内。プロの目利きが選ぶ食材のクオリティの高さを存分に味わえる、贅沢なひとときを。

弁富士

所在エリア：豊洲市場
6街区／水産仲卸売場棟3階
電話番号：03-6633-0503
<http://toyosu.tsukijigourmet.or.jp/shop/6-bentomisushi/index.html>

予約も可能！



海鮮丼は新鮮なネタがたっぷり！



旨味が染み込んだマグロのカマ煮付けを堪能♪



就職の定着支援まで。

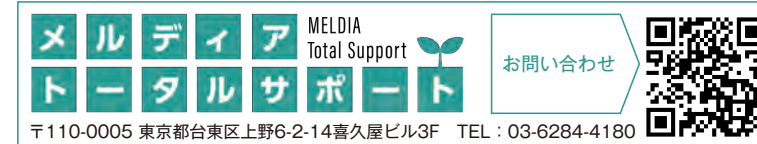
メルディアはご家族の不安をサポートします。



メルディア トータルサポート 上野ってなあに?

就職の不安はメルディアに

今回は、メルディアトータルサポート上野で、就職で不安のある方をどうサポートをしているか、漫画で分かりやすくお届けします。
通所をルーティン化することからコツコツと寄り添って支援します。

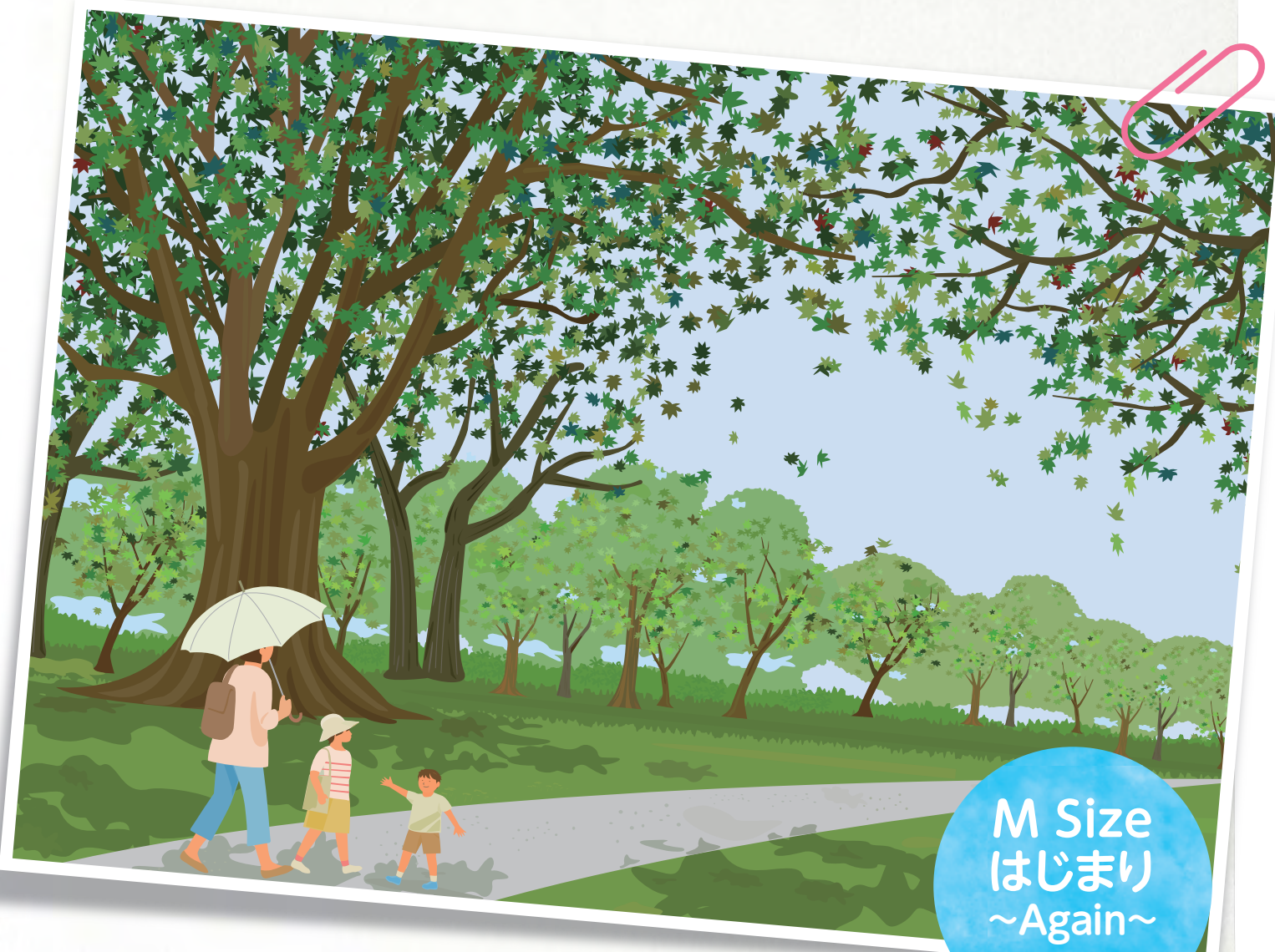


志士ノ まる フリーランスデザイナーの他、イラストレーターや漫画家として活躍するシングルマザー。長男のリウくんは自閉症であり、軽度知的障がいでもある。まる著「シンママのはじめて育児は自閉症の子でした」(KADOKAWA、2022年)好評発売中。



(左)X(旧Twitter)
<https://x.com/shishishimr>
(右)Instagram
<https://www.instagram.com/maru.manga/>





M Size
はじまり
~Again~
VOL.67

アナログな存在が語りかける 時代を越えて残るもの、変わってゆくもの

シンガーソングライター 水越けいこ

記憶や想像を湧き立てる、
モノクロの力

少し前の事です。息子の麗良が15年間通っている空手教室の写真展がありました。どの子供さんの写真も、普段見ている穏やかな雰囲気とは違う、スポーツマンらしい端正な表情がとても新鮮でした。何より良かったと感じたのは、その作品が全てモノクロだった事です。モノクロという表現により、その背景を想像する楽しみ方が出来た事は、ある意味、発見でした。

あくまでも私の推察ですが、カメラマンさんは、作品をモノクロに仕上げる事により、被写体の顔や筋肉を引き締めて魅せたかったのかな、また、道着の白色をメインとして、効果的に帯の色をはっきりとさせない事により、写真からの余計な情報のインプットを排除したかったのかな、などと考えます。

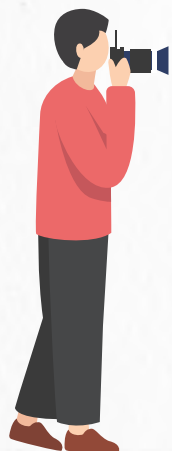
芸術には作品を創る側も、作品を楽しむ側も、自らのポイントを絞り込む事、つまりシンプルである事が大切なのだな、と改めて感じました。

音楽と映像、
それぞれの役割を見つめて

ある時、知人の音楽プロデューサーが「最近のミュージックビデオの制作

私の世代だと「アナログの時代は良かった」という事になりがちですが、私は全てがそうとも限らないな、と考えています。古き良きものを大事にし、時代の最先端を取り込む。そんな思考のバランスを保てれば、より文化的になれると考えます。もしこの先の時代も、アナログという存在で残りゆくものがあるとするれば、それは掛け替えのない意味を持つものでしょう。

結果、人の想いや愛情、時間などが、きつとそう在る事でしょう。



手法が好きじゃないから、自らは手掛けないんだ」と言っていた事を思い出しました。その理由は、演者、作詞家と作曲家、また編曲家という音楽家のバランスの中に、人間の五感として、とても強い「視覚」をメインとした新たなストーリーが加わると、後に全体で捉えた時、楽曲には含まれないニュアンスが生まれてしまうから、つまり楽曲の純粹で核となる部分が隠れてしまう場合があるから、という事でした。

あ、音楽ドキュメンタリー映画は別ね。つまり、音楽と映像は、混ぜすぎ注意っていう事なんだよ」とも言っていました。ふと思いついたエピソードですが、写真展のカメラマンさんの持つモノクロへの見解に近いのかな、と感じました。そして、カメラマンさんも、知人の音楽プロデューサーも、そして私自身も、どこか似たような感性があるのかな、と思います。

フィルムで撮った写真に残る、
鮮やかな記憶

写真展から帰宅した夜、暫く写真と

時代の事を考えました。我が家には、私と息子との思い出の写真が沢山あります。沢山の友人との写真もあります。その写真達を眺める度に、その時々を細かく思い出せるのは不思議な事です。その写真達というのは、フィルムで撮ったものであり、紙焼きにしたものです。つまり、デジタルカメラが主流になる以前のものになります。昔はフィルムの枚数にも制限がありました。私は職業柄、レコードのジャケットなどで被写体となる事も多かったので、写真撮影に関しても色々な思い出があります。当時は全てが大掛かりでした。とても貴重な経験をさせて貰ったと思っています。

そして現在、私のスマートフォンの中にも、沢山の写真が在ります。とても綺麗な色味と画質のそれぞれには、美術への進化を感じる事が出来ます。またコストを掛けず、無限に枚数を撮る事の便利さは、とても有意義な事だと感じます。さて、読者の皆様はどちらの写真がお好みでしょうか。

新旧のバランスが育む、
文化と人のぬくもり

どの年代の方でもそうだと思うのですが、自分が若かった頃の文化が最高だった！と思う事はありますか？



水越 けいこ

シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動が続けている。

<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



PRESENT

6月30日
(月) 締切



応募方法 左のQRコード*から必要事項をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

A 1名様



東京タワー土産
トートバッグ

B 1名様



東京タワー土産
メモ帳

C 2名様



りんごちゃん
ストラップ

D 1名様



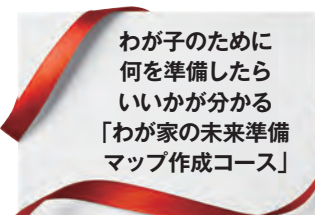
えりかんさん
サイン入りフォト

E 1名様



※障害のある子のライフプランサポート協会のサポートメニュー。税込44,000円相当。

F 3名様



※障害のある子のライフプランサポート協会オリジナル

G 1名様



PEANUTS
SNOOPY x
鳥獣戯画 巾着

H 1名様



PEANUTS
SNOOPY x
鳥獣戯画 便箋

GcMAFサプリメント モニター参加者を募集中!

お申し込みフォーム▶
<https://online.asapharma.jp/pages/form>



サプリメント成分 初乳、ビタミンA・B・C・D・E、鉄、亜鉛、マグネシウム、DHA、エルゴチオネイン。子ども用は栄養素等表示基準値の60%で設定しています。

お問い合わせ先▶support@asapharma.jp

製造・販売元 株式会社あざ製薬

vol.67 MELDIA 2025 MAY.

発行元／一般財団法人 メルディア

広報誌MELDIA Vol.67／2025年5月25日発行

本誌の無断転載・複製を禁じます。

2017-2025©All Rights Reserved.

一般財団法人 メルディア／広報誌MELDIA

無料定期購読の
お申し込みは
こちらから



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



次号予告

MELDIA vol.68
2025年7月25日 発行予定



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

一般財団法人 メルディア

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-22

セキサクビル7F

一般財団法人 メルディア

TEL:03-6302-1871

お問い合わせはこちら



一般財団法人
メルディア
Meldia Foundation

〒169-0072
東京都新宿区大久保
2-5-22セキサクビル7F
一般財団法人
メルディア 宛て
TEL：03-6302-1871
MAIL：org@mlda.jp

ホームページ

一般財団法人 メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報を掲載しています。X(旧Twitter)では湘南ベルマーレ観戦チケットプレゼントやスポーツ支援情報を発信しています。是非、ご覧ください。

X(旧Twitter)

https://x.com/gf_meldia

ホームページ

<https://mlda.jp>



一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

MELDIA
つなぐ

高齢者の予防接種は危ない 私は薬害を黙ってられない

高齢者の 予防接種は 危ない

私は薬害を黙ってられない

参議院議員
川田龍平

「日本人の命が
売られる！
全ての国民は
知って下さい」
推薦！
国際ジャーナリスト
堤未果氏



巻頭で
和田秀樹氏と特別対談!

飛鳥新社 1,800円(税込)

4/18
発売

あなたは、政府、主治医を 信用できますか？

自分の「いのち」を守るために、この事実を知ってください。

新型コロナワクチン接種後の健康被害はすでに9000件超え。(2025年4月時点、防接種健康被害救済制度)

すでに接種が始まっている次世代コロナワクチン「レプリコン」は本当に安全なのか。

国会議員で、薬害エイズ被害者でもある筆者が、ワクチンをめぐる利権構造、医療界の闇を覚悟の告発!

和田秀樹氏(『80歳の壁』著者)とのロング対談を収録。

参議院議員 川田龍平

1976年、東京都小平市生まれ。生後6カ月で血友病と診断され、輸入血液製剤投与によりHIVに感染。93年、「薬害エイズ事件」の国と製薬会社の責任を問う東京薬害HIV訴訟原告団として活動の傍ら、95年、未成年者として初の日本人HIV感染者として実名を公表する。96年、東京HIV訴訟で実質勝利の歴史的和解を勝ち取る。2007年、参議院議員選挙に無所属で立候補して当選。13年、参議院選挙全国比例区で再選(2期目)。17年、立憲民主党に入党。参議院選挙、再選(3期目)。厚生労働委員会理事、国民生活調査会長、行政監視委員会委員長を歴任。現在、環境委員会筆頭理事、予算委員会委員、拉致問題特別委員会委員、「オーガニック(有機)給食を全国に実現する議員連盟」の共同代表。「命を守る日本の実現」を目指し、すべての「いのち」を守る法律を、国会で作っている。家族は国際ジャーナリストの堤未果(妻)とロシアンブルー2匹。『この国はなぜ被害者を守らないのか——子ども被災と薬害エイズ』『誰も書けなかった国会議員の話』『医療格差』『川田龍平のいのちを語る』など。近著に「Ryuhei: Courage to Live It 龍平: 生き抜く勇気」がある。



<https://amzn.asia/d/cfxWsof>

高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ2025神奈川 K1

湘南ベルマーレNEWS

BELLMARE FOOTBALL ACADEMY



一般財団法人メルディア 青少年スポーツ支援

一般財団法人メルディアはスポーツに真剣に取り組み、
プロを目指す青少年を支え、応援しています！

現在、メルディアが奨学生として支援しているベルマーレフットボールアカデミーの選手たちは、U-18などの公式戦でも目覚ましい活躍を見せています。プロを目指し、高い意識と情熱でフットボールに打ち込む彼らの姿は、多くの人に希望と感動を届けてくれます。メルディアは、経済的な面から夢の実現を後押しし、挑戦し続ける青少年の可能性を広げ、これからもその歩みを応援していきます。

湘南ベルマーレ ホームゲーム

観戦チケットプレゼント

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方と、同行者の方1名を湘南ベルマーレの
ホームゲームに抽選でご招待します。

本ページにて募集の「湘南ベルマーレホームゲーム観戦チケットプレゼント」についてはリーグおよび、クラブの発表情報に合わせ、以下のURLにて詳細を随時お知らせいたします。

一般財団法人メルディア HP <https://mlda.jp>

